

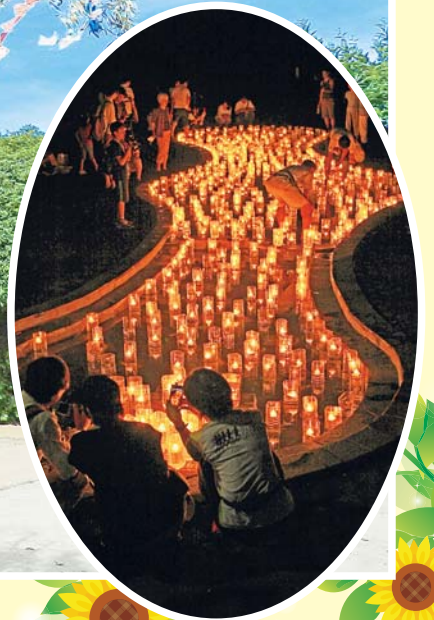
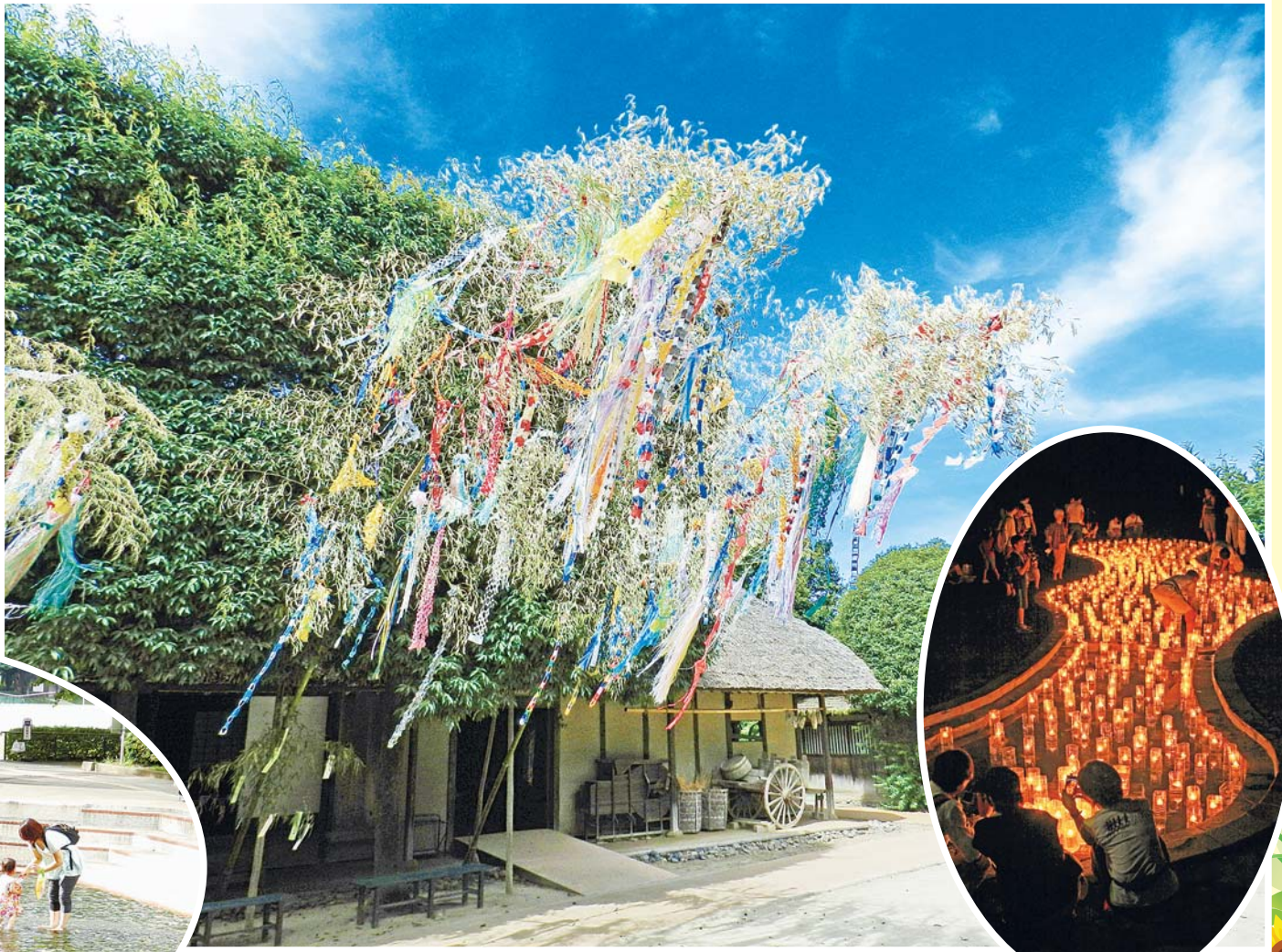


こ だ い ら

市議会だより



平成30年(2018年)7月29日 NO.236 発行/小平市議会 編集/広聴広報特別委員会
〒187-8701 東京都小平市小川町二丁目1333番地 TEL 042 (346) 9566
小平市議会ホームページ <http://www.city.kodaira.tokyo.jp/gikai/>
電子メール gikai@city.kodaira.lg.jp



ことしも暑い！小平の夏（小平ふるさと村、中央公園のジャブジャブ池、小平グリーンロード灯りまつり）

平成30年 6月定例会は、6月5日から28日まで24日間の会期で開催されました。

この定例会では、平成30年度一般会計補正予算（第1号）など15件の市長提出議案を可決・承認・同意しました。議員提出議案は特権的地方議会議員年金制度の復活に断固反対する意見書1件を可決し、請願は1件を採択しました。

また、6月6日から3日間にわたり、25人の議員から59件の一般質問がありました。

平成30年度

一般会計補正予算（第1号）など 16議案を可決

小平市廃棄物の減量及び処理に関する条例の 一部を改正する条例を可決しました

6月定例会

議会を傍聴
しませんか？

今後の

市議会の日程(予定)

開会時刻

原則として午前9時

場 所

市役所7階

傍聴される方は、
議会事務局へ
お越しください。

8月20日（月）総務委員会
請願・陳情締め切り（午前中）（※1）
8月21日（火）生活文教委員会（※2）
8月22日（水）厚生委員会（※2）
8月23日（木）環境建設委員会
8月30日（木）議会運営委員会（※3）
9月 4日（火）9月定例会本会議（初日）
9月 5日（水）9月定例会本会議（一般質問）
9月 6日（木）9月定例会本会議（一般質問）
9月 7日（金）9月定例会本会議（一般質問）
9月11日（火）総務委員会
9月12日（水）生活文教委員会

9月13日（木）厚生委員会
9月14日（金）環境建設委員会
請願・陳情締め切り（午前中）（※4）
9月18日（火）広聴広報特別委員会
9月19日（水）都市基盤整備調査特別委員会
9月20日（木）公共施設マネジメント調査特別委員会
9月25日（火）議会運営委員会（※3）
9月28日（金）9月定例会本会議（最終日）
広聴広報特別委員会（※3）
10月 9日（火）決算特別委員会（一般会計）
10月10日（水）決算特別委員会（一般会計）
10月11日（木）決算特別委員会（一般会計）

10月12日（金）決算特別委員会（特別会計）
10月16日（火）広聴広報特別委員会
10月18日（木）都市基盤整備調査特別委員会
10月25日（木）市民と議会の意見交換会（※5）
10月26日（金）市民と議会の意見交換会（※5）
10月29日（月）市民と議会の意見交換会（※5）
10月30日（火）市民と議会の意見交換会（※5）
（※1）9月定例会初日上程の受け付け期限です。
（※2）当日は、現地視察を予定しています。委員会の再開時間等につきましては、議会事務局にお問い合わせください。
（※3）開始時間については、議会事務局にお問い合わせください。
（※4）9月定例会最終日上程の受け付け期限です。
（※5）詳細については、議会事務局にお問い合わせください。

日程、開会時刻等は変更や追加になる場合もありますので、事前に議会事務局までお問い合わせください。

市議会だよりの配布に関するお問い合わせは、小平市シルバー人材センター 042(344)2120 にご連絡ください。

可決または同意した
主な議案

平成30年度一般会計
補正予算（第1号）

本補正予算は、当初予算編成後に新たに実施することとなった事業に関する経費等を計上するものです。

歳出の内容としては、総務費では、自主防災組織に供与する防災用備品を購入します。

労働費では、出産育児等で離職した女性のための再就職サポート事業を実施します。

教育費では、一般教員の負担軽減を図るため、授業の準備等の事務を補助するスクールサポートスタッフを配置するほか、

小川西町図書館のエレベーターの改修工事を計上します。

予算規模としては歳入歳出をそれぞれ3千2百54万3千円増額し、総額を6百49億7千7百54万3千円とします。

小平市税条例等の一部を改正する条例

平成30年度の地方税制の改正等に伴い改正するものです。

主な内容として、個人市民税関係の改正では、今回の税制改正により、国税及び地方税において、働き方の多様化への対応

等の観点から給与所得控除及び公的年金等控除の制度の見直しを図りつつ、一部を基礎控除に振りかえるなど、個人所得課税

の見直しが行われており、これらの見直しに合わせて改正を行うもので、①基礎控除及び調整

控除について、一定の所得を超える場合に適用しないこととする、②給与所得控除及び公的年金等控除から基礎控除への振りかえに伴う所要の調整として、

個人市民税の均等割、所得割等の非課税の範囲の引き上げを行います。法人市民税関係、固定

資産税・都市計画税関係で改正を行うほか、市たばこ税関係では、加熱式たばこの課税方式について、製品の重量により算出

する方式から製品の重量と価格により算出する方式へ5年かけて段階的に移行するなどの改正を行います。

そのほか、地方税法及び他の法令の一部改正による引用条項の改正及び文言の整理等を行います。

施行期日は、特に定めるもののほか、公布の日です。

国民健康保険条例の一部を改正する条例

平成30年4月1日に施行された地方税法施行令の一部改正等に伴い改正するものです。

改正の内容は、①国民健康保険税の課税限度額のうち、医療保険分を現行の54万円から58万円に改めることにより、課税限度額の合計額を現行の89万円から93万円に引き上げる、②特例

対象被保険者等にかかる国民健康保険税の軽減について、届け出には雇用保険受給資格者証の提出を必須としていましたが、

マイナンバーによる情報連携において必要な情報が取得できた場合には、雇用保険受給資格者証の提出を省略できるようにするものです。

施行期日は、①は平成31年4

月1日、②は公布の日です。

廃棄物の減量及び処理に関する条例の一部を改正する条例

廃棄物の減量や3Rの推進を図り、環境への負荷が低減された持続可能な循環型社会の実現を推進するため、平成30年3月

に策定した小平市家庭ごみ有料化及び戸別収集への移行実施計画に基づき、平成31年4月1日

からの家庭ごみ有料化の実施に向けて改正するものです。

主な内容は、①平成30年3月に改訂した小平市一般廃棄物処理基本計画の理念等を踏まえ、

本条例の目的として、環境への負荷が低減された循環型社会の形成を実現することを明記する、

②家庭廃棄物のうち、燃やすごみ、燃やさないごみ及びプラスチック製容器包装について手数料を徴収し、引きかえに交付す

る指定収集袋を使用して排出することを新たに定める、③手数料について、燃やすごみ及び燃やさないごみは1戸当たり2円、

プラスチック製容器包装は1戸当たり1円の手数料を徴収することを規定するものです。

施行期日は、平成31年4月1日ですが、施行期日前から指定収集袋の販売等を行う必要があることから、附則において、収集袋の交付その他必要な行為は、

施行期日前においても行うことができることとしています。

人権擁護委員候補者の推薦

法務大臣から委嘱されている人権擁護委員を次のとおり推薦することに同意しました。

西角 昭氏
瀬貫 和広氏

常任委員会では、先進市等の事業を調査するために行政視察を行っています。平成30年5月9日～11日及び16日～18日に実施した視察先、及び視察事項は以下のとおりです。

総務委員会（5月9日～11日）
●弘前市（青森県）
新たな財源確保の取り組みについて
●大館市（秋田県）
ふるさと納税について
●盛岡市（岩手県）
盛岡市まちづくり研究所について

生活文教委員会（5月9日～11日）
●羽咋市（石川県）
無農薬・無肥料で行う自然栽培について
●小矢部市（富山県）
小矢部市の教育について
●糸魚川市（新潟県）
駅前大火後の防災の取り組みについて

厚生委員会（5月16日～18日）
●東大阪市（大阪府）
障害児者支援センター レピラについて
●豊中市（大阪府）
コミュニティソーシャルワーカーの取り組みについて
●生駒市（奈良県）
地域包括ケアシステムについて

環境建設委員会（5月16日～18日）
●札幌市（北海道）
住民参加型の公園づくりについて
●室蘭市（北海道）
住民参加型の公園リニューアル事業について
●苫小牧市（北海道）
まちなか再生総合プロジェクトについて

6月定例会

議案等に対する各議員の賛否

会派名略称 公明：市議会公明党（6） フォ：フォーラム小平（6） 政和：政和会（5） 共産：日本共産党小平市議団（4） 生ネ：生活者ネットワーク（4）
（ ）内は各会派の議員数 緑：緑の党こだいら（1…無会派） ムサ：ムサシ（1…無会派）

○：賛成　×：反対			議決結果	公明						フォ					政和				共産			生ネ			緑	ムサ	賛成	反対				
区分	議案番号	件名		津本裕子	虹川浩	山岸真知子	浅倉成樹	佐藤徹	幸田昌之	石毛航太郎	小林洋子	滝口幸一	竹井ようこ	中江みわ	吉本ゆうすけ	磯山亮	小野高一	川里春治	永田政弘	宮寺賢一	佐藤充	木村まゆみ	吉瀬恵美子	細谷正	平野ひろみ	さとう悦子			日向美砂子	山崎とも子	橋本久雄	伊藤央
議員提案	第39号	議案第32号小平市廃棄物の減量及び処理に関する条例の一部を改正する条例に対する附帯決議	否決	×	×	×	×	×	×	×	※議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	6	20
市長提案	第32号	小平市廃棄物の減量及び処理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	※議長	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	20	6

全会一致で議決した議案 ※						
区分	議案番号	件名	議決結果	議案番号	件名	議決結果
議員提出議案	第38号	特権的地方議会議員年金制度の復活に断固反対する意見書	原案可決			
市長提出議案	第23号	専決処分（小平市税条例の一部を改正する条例）	承認	第30号	小平市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
	第24号	専決処分（小平市国民健康保険条例の一部を改正する条例）	承認	第31号	小平市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
	第25号	人権擁護委員候補者の推薦	同意	第33号	小平市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
	第26号	人権擁護委員候補者の推薦	同意	第34号	小平市立学童クラブ条例の一部を改正する条例	原案可決
	第27号	平成30年度小平市一般会計補正予算（第1号）	原案可決	第35号	小平市国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決
	第28号	小平市税条例等の一部を改正する条例	原案可決	第36号	小平市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
	第29号	小平市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	第37号	小平市消防団消防ポンプ自動車の買入れについて	原案可決
請願	第11号	胎内掘保全工事に当たり市内用水路への流水の維持を求めることについて	採択			

※ 議長は表決に加わりません。

議員の紹介

五十音順に左から右へ記載してあります。

＜委員会名の略称＞

総務＝総務委員会、生文＝生活文教委員会、厚生＝厚生委員会、環建＝環境建設委員会

広聴広報＝広聴広報特別委員会、都市基盤＝都市基盤整備調査特別委員会

公共施設＝公共施設マネジメント調査特別委員会

議運＝議会運営委員会

(◎＝委員長、○＝副委員長)

写真 氏名（年齢は発行日現在） 当選回数 会派名 常任委員会・特別委員会等 住 所 電話番号（事）は事務所	あさくら しげ き 浅倉 成樹 (66) ⑥ 市議会公明党 生文・議運 学園東町1-3-11-402 ☎042-341-7850	あふかわ ひろし 虻川 浩 (57) ③ 市議会公明党 総務(◎)・議運 美園町2-3-15-103 ☎042-348-0483	いしげ こう たろう 石毛 航太郎 (37) ③ フォーラム小平 厚生(◎)・公共施設 花小金井1-29-9 ☎042-452-9091	いそやま りょう 磯山 亮 (38) ② 政和会 生文(◎)・広聴広報・公共施設 花小金井南町1-18-39-305 ☎042-452-7631	いとう ひさし 伊藤 央 (48) ① ムサシ 生文・公共施設 学園西町2-28-11-210 ☎042-307-9054	おの こういち 小野 高一 (70) ② 政和会 厚生・議運 小川町2-1879-4 ☎042-343-8412
かわさと はるじ 川里 春治 (71) ③ 政和会 生文・公共施設 花小金井3-11-8 ☎042-461-8292	きせ えみ こ 吉瀬 恵美子 (56) ① 日本共産党小平市議団 厚生・広聴広報・都市基盤(○) 鈴木町2-229 ☎042-478-1133	きむら まゆみ (66) ⑤ 日本共産党小平市議団 生文(○)・公共施設 津田町1-2-11 ☎042-344-4928	こばやし ようこ 小林 洋子 (45) ② フォーラム小平 環建(○)・議運(◎) 鈴木町1-248 ☎042-341-5749	さとう えつこ さとう 悦子 (53) ① 生活者ネットワーク 厚生・議運(○) 仲町489-7 ☎(事)042-342-4494	さとう とおる 佐藤 徹 (59) ① 市議会公明党 環建・広聴広報・都市基盤 小川町1-800-36 ☎042-332-5883	さとう みつる 佐藤 充 (66) ④ 日本共産党小平市議団 環建(◎)・公共施設 小川町2-1362-11 ☎042-343-0831
たきぐち こういち 滝口 幸一 (45) ③ フォーラム小平 議長 学園西町3-1-22 ☎042-347-1060	たけい ようこ (52) ① フォーラム小平 総務・広聴広報(○)・公共施設 (事)美園町1-1-15 ☎(事)042-207-1232	つもと ゆうこ 津本 裕子 (57) ④ 市議会公明党 副議長・厚生・公共施設 花小金井南町1-17-11-110 ☎042-464-1126	なか え みわ (38) ① フォーラム小平 生文・広聴広報・都市基盤 学園東町1-10-16-101 ☎042-315-7475	なが た まさひろ 永田 政弘 (72) ⑤ 政和会 環建・広聴広報(◎)・都市基盤 天神町2-3-12 ☎090-2538-0263	はしもと ひさお 橋本 久雄 (67) ⑤ 緑の党こだいら 厚生・都市基盤 学園西町1-22-15サントピア並木1F ☎042-348-1127	ひなた みさこ 日向 美砂子 (56) ③ 生活者ネットワーク 総務・都市基盤 小川町1-869-1-103 ☎(事)042-342-4494
ひらの ひろみ (59) ③ 生活者ネットワーク 環建・公共施設(◎) 小川西町5-11-11-702 ☎(事)042-342-4494	ほそや ただし 細谷 正 (39) ② 日本共産党小平市議団 総務・議運 小川西町5-37-6 ☎042-345-0818	みやでら けんいち 宮寺 賢一 (74) ③ 政和会 総務(○)・都市基盤 小川町1-265 ☎042-341-7964	やまし た まちこ 山岸 真知子 (59) ③ 市議会公明党 総務・広聴広報・公共施設(○) たかの台19-7 ☎042-309-5355	やまさき ともこ 山崎 とも子 (50) ① 生活者ネットワーク 生文・広聴広報・都市基盤 小川町1-3050-2 ☎(事)042-342-4494	やし た まさゆき 幸田 昌之 (50) ② 市議会公明党 厚生(○)・都市基盤(◎) 学園西町1-37-4 ☎042-347-7480	よしもと ゆうすけ (35) ① フォーラム小平 議運 小川西町5-30-9-205 ☎042-315-9337

常任委員会

◎＝委員長
○＝副委員長

市の事務に関する調査及び議案・請願等の審査を行います。小平市議会では条例により四つの常任委員会を設置しています。各委員会の定数及び所管は次のとおりです。

■総務委員会（7人）

市の基本計画、広報、財政、財産管理、個人情報保護、情報公開、契約、職員給与、戸籍・住民記録、市税、公金の出納、広聴、市民相談などに関する事項

◎虻川 浩 ○宮寺 賢一
竹井ようこ 日向美砂子
細谷 正 山岸真知子
吉本ゆうすけ

■生活文教委員会（7人）

防災、防犯、男女共同参画、地域センター、産業振興、文化施策、スポーツ振興、学校教育、生涯学習、公民館、図書館などに関する事項

◎磯山 亮 ○木村まゆみ
浅倉 成樹 伊藤 央
川里 春治 中江 みわ
山崎とも子

■厚生委員会（7人）

子育て支援、保育、生活支援、高齢者支援、介護保険、障害者支援、健康施策、国民健康保険などに関する事項

◎石毛航太郎 ○幸田 昌之
小野 高一 吉瀬恵美子
さとう悦子 津本 裕子
橋本 久雄

■環境建設委員会（7人※欠員2人）

環境対策、ごみ・リサイクル、公園・用水、下水道、都市計画、公共交通、土地地区画整理、道路、交通対策などに関する事項

◎佐藤 充 ○小林 洋子
佐藤 徹 永田 政弘
平野ひろみ

特別委員会

◎＝委員長
○＝副委員長

常任委員会とは別に、特定事件を調査及び審査するための委員会です。各委員会の定数及び所管は次のとおりです。

■広聴広報特別委員会（8人）

①議会報告会の企画及び聴取した意見等の整理に関すること②議会報の編集及び発行方法に関すること③議会ホームページの充実に関すること④広聴及び広報活動の基本的事項の調査に関すること

◎永田 政弘 ○竹井ようこ
磯山 亮 吉瀬恵美子
佐藤 徹 中江 みわ
山岸真知子 山崎とも子

■都市基盤整備調査特別委員会（10人※欠員1人）

①駅前再開発の基本的事項の調査に関すること②都市計画道路、鉄道の連続立体交差化の基本的事項の調査に関すること

◎幸田 昌之 ○吉瀬恵美子
佐藤 徹 中江 みわ
永田 政弘 橋本 久雄
日向美砂子 宮寺 賢一
山崎とも子

議会運営委員会（7人）

◎＝委員長 ○＝副委員長

議会運営に関する事項についての調査及び議案・請願等の審査を行います。

◎小林 洋子 ○さとう悦子
浅倉 成樹 虻川 浩
小野 高一 細谷 正
吉本ゆうすけ

■公共施設マネジメント調査特別委員会（10人）

公共施設マネジメント推進計画に係る基本的事項の調査に関すること

◎平野ひろみ ○山岸真知子
石毛航太郎 磯山 亮
伊藤 央 川里 春治
木村まゆみ 佐藤 充
竹井ようこ 津本 裕子

市政を問う 一般質問要旨

一般質問とは

議員が市政全般にわたり、執行機関に対し、事務の状況及び将来に対する方針等について質問することをいいます。一般質問(要旨)につきましては、議員ごとにまとめたものを掲載しております。

これまでの会議録は、小平市議会ホームページで、閲覧・検索ができます。動画もご覧になれます。



**SNSによる相談支援体制の充実
在宅医療と介護の連携推進**
佐藤 徹議員(市議会公明党)

いじめ、自殺等へのSNSを活用した相談支援体制の充実を

在宅医療と介護のさらなる連携推進を目指して

質問 ①柏市が導入した相談アプリ^{※1}STOPitの導入を本市でも検討すべきだが見解は。

②LINEを使用した都の相談の取り組みを、本市の小・中学校の児童・生徒・保護者にも広報、周知すべきだが見解は。

教育長 ①現在の相談体制の成果と課題を確認し、周辺自治体の動向等も踏まえ研究していく。

②都の相談アプリなどが記載されたメールマガジンの情報をホームページに掲載するなどしている。教員研修会等で周知し、児童等に知らせるよう指導する。



適正な中学部活動に／減少を続ける自治会加入率をどうするか
伊藤 央議員(ムサシ)

生徒の健全な心身の成長の観点から部活動の現状と今後

質問 ①部活動の長時間化が与える生徒、教員への影響は。

②スポーツ庁が策定した運動部活動の在り方に関する総合的なガイドラインを受けて学校への指導は。

教育長 ①行き過ぎた活動は生徒に心理的・肉体的な負担をもたらすおそれがあるとともに、教員の長時間労働にもつながる。

②文化部活動についても運動部活動に準じた取り扱いが必要。ガイドライン及び都教育委員会策定の運動部活動の在り方に関する方針のとりと、本年度末

までに市の部活動のガイドラインを作成する予定である。

地域コミュニティの活性化を自治会加入促進から考える

質問 ①自治会加入率が上昇しない原因は。

②市として自治会加入率について目標値を持つているか。

③自治会加入を促進するための条例制定は考えられないか。

市長 ①住民と地域の関係が希薄になっていることが原因の1つと考えている。

②具体的な目標値はない。

③考えていない。



農業者と市民の共生により都市農業を未来へつないでいく
小野高一議員(政和会)

都市農業振興により市内農地の有効活用及び維持保全をしよう

質問 ①特定生産緑地制度の活用促進のため、普及啓発や実態調査を実施する予定は。

②生産緑地地区の表示がわかりづらくなった標識への対応は。

③小学校における学童農園事業について、農業者の評価は。

④中学校での学校農園実施は。

⑤企業等への農業体験周知は。

市長 ①農業委員会、JA東京むさしとも連携し説明会を開催するなど、丁寧な普及啓発活動を進めていく。実態調査は毎年実施する作付調査とあわせた実施等方策について検討していく。



**自治会加入促進と行政の役割
保育園待機児童の対応策**
中江みわ議員(フォーラム小平)

自治会加入促進と行政の役割について

質問 ①非加入者の要因をどのように把握し、分析しているか。

②日野市を参考に、職員を自治会と市のパイプ役とする地域サポーター制度導入への見解は。

市長 ①単独世帯の割合の増加やライフスタイルの多様化等に伴う、住民と地域の関係の希薄化が要因の1つであると考えている。

②地域へ積極的に職員が出ていき、自治会などさまざまな団体が連携する仕組みの構築に取り組むなどしており、現在では考えていないが、自治会の実情や意向も踏まえ研究していく。

**視覚障がい者に危険な横断歩道
次世代高効率照明機器**
蛇川 浩議員(市議会公明党)



視覚障がい者に危険になった新青梅街道の移設された横断歩道

質問 ①大沼町のタッチ式スイッチつきの障害者に優しい横断歩道が移設された経緯は。

②新たな横断歩道は新青梅街道に対し道に沿って斜めに設置されており視覚障害者のために改善策を講ずるべきだが見解は。

市長 ①道路管理者等からは、地元住民の要望で交差点西側に横断歩道を増設するとともに、既設の横断歩道を交差点の形状に合わせて移設したと聞いている。

②交通管理者に、同様の工事の際は丁寧な対応をお願いするとともに、要望を伝えていく。

質問 ①現在作成が進んでいる各小・中学校の避難所管理運営マニュアルの進捗状況と課題は。

②小平第十小学校が29年の学校公開を活用して実施した防災を考える日についての見解は。

市長 ①作成完了及び作成中は

質問 萩山駅前歩道橋について管理している東村山市とはこれまでどのような協議をしたか。

市長 現況や今後の修繕等を協議している。30年度、当該歩道橋の橋梁点検と交通量調査を実施する予定であると聞いている。

質問 ①公共施設及び学校施設の次世代高効率照明機器への設置計画の策定について見解は。

②学校照明は、児童・生徒の健康のためフリッカー(ちらつき)対策等の必要があり、早急に実証実験等に着手すべきでは。

市長 ①国は2030年での全ての照明の高効率化を示していることから計画の策定を検討していく。



行政文書を西暦表記へ／現状では震災用井戸は活用できない

橋本久雄議員(緑の党こだいら)

改元に伴い行政文書は原則として西暦表記とすべき

質問 ①行政文書に年号を記載する場合の基準は。

②西暦表記の町田市の評価は。

③西暦を基本に必要な際は元号併記として統一できないか。

市長 ①明示した基準等はない。

②表記の法的規定はなく各自

治体が対応しているものである。

③国の見解等注視し対応する。

現状では災害時、震災対策用井戸は有効に活用できない

質問 ①場所の公表、標識の設置、ルール作成と表示、周辺住民への周知等改善が必要では



所有者不明土地問題の解決／障害者グループホームを守る

磯山 亮議員(政和会)

所有者不明土地等の対策について

質問 ①市内の所有者不明土地の数と把握のための取り組みは。

②住民票、除かれた住民票、戸籍の附票、除かれた戸籍の附票は、所有者不明土地の所有者を探索する際、本人の同一性を住所、氏名により特定し証明できる手段である。住民票の除票及び戸籍の附票の除票に関して、保存期間を延長してどうか。

市長 ①課税している土地において5件ある。現地調査をするとともに、住民票、戸籍等を調査し、把握に努めている。

②保存期間の延長は有用と認



子どもたちの外遊びを保障するプレパーク／給食の食器改善

平野ひろみ議員(生活者ネットワーク)

子どもたちの外遊びを保障するプレパークを活用しよう

質問 ①第三次長期総合計画に掲げるプレパーク設置について、その経過と実現に向けた取り組み、また今後の活用を問う。

②子どもにとっての外遊びの場所や時間についてどう保障しているか。

市長 ①小川町一丁目区画整理事業区域内のきつねづばら公園にプレパークエリアを整備すると公表した後、関係団体などからの要望に基づき整備し、平成23年7月から供用開始した。今後もプレパーク活動ができる場として提供を継続する。

質問 ①第三次長期総合計画に掲げるプレパーク設置について、その経過と実現に向けた取り組み、また今後の活用を問う。

②子どもにとっての外遊びの場所や時間についてどう保障しているか。

市長 ①小川町一丁目区画整理事業区域内のきつねづばら公園にプレパークエリアを整備すると公表した後、関係団体などからの要望に基づき整備し、平成23年7月から供用開始した。今後もプレパーク活動ができる場として提供を継続する。

質問 ①第三次長期総合計画に掲げるプレパーク設置について、その経過と実現に向けた取り組み、また今後の活用を問う。

②子どもにとっての外遊びの場所や時間についてどう保障しているか。

市長 ①小川町一丁目区画整理事業区域内のきつねづばら公園にプレパークエリアを整備すると公表した後、関係団体などからの要望に基づき整備し、平成23年7月から供用開始した。今後もプレパーク活動ができる場として提供を継続する。



小学校給食の食器(左からPEN樹脂食器、アルマイト食器、強化磁器食器)



防災／学校での宿泊行事

小林洋子議員(フォーラム小平)

避難所管理運営マニュアル作成状況について

質問 ①避難所管理運営マニュアル作成対象としているのは何か所か。

②未着手の避難所の課題は。

地域住民への声かけがうまくいっていない場合、消防団OBや災害時支援ボランティア登録者への声かけが有効と考えるがどうか。

市長 ①市立小・中学校及び元気村おがわ東の28か所である。

②避難所運営の中心となるリーダーの育成等が課題である。提案を含めより多くの地域住民に協力してもらえよう務める。

質問 ①小学校給食の食器改善の進捗状況と今後の計画は。

教育長 市立小学校19校のうち9校は今年で強化磁器食器またはPEN樹脂食器を使用し、残り10校の4年生以上の学年ではアルマイト食器を使用している。平成33年度までは給食調理業務委託化の計画にあわせ強化磁器食器への切りかえを進める。



防災備蓄品の回転備蓄を進めよう／一時預かり保育の充実を

山崎とも子議員(生活者ネットワーク)

防災備蓄品を無駄なく消費する回転備蓄を進めよう

質問 ①災害に備えた食糧備蓄品の入れかえ後の活用方法は。

②乳児用液体ミルクを回転備蓄することについて市の見解は。

③医薬品の備蓄状況と慢性疾患用処方薬の備蓄への見解は。

市長 ①クッキーやアルファ化米は自治会等に提供し防災訓練時の炊き出し訓練に活用してもらうほか、防災教育の一環として中学校給食で活用。粉ミルクは市内保育園で活用している。

②災害時には有用だが価格が高いなど現時点の実現は難しい。

③医師会、薬剤師会とともに

学校での宿泊行事について

質問 ①宿泊行事を行う目的は。

②宿泊行事をふやして欲しい等、校長会などから要望が上がったことはあったか。

③宿泊行事をふやすことを検討して欲しいと考えるがどうか。

教育長 ①見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、集団生活のあり方や公衆道徳等についての体験を積むことである。

②5年生でも移動教室を実施できないかとの声はあった。

③教育的効果や保護者と市の負担増等について協議し実現の可能性の見きわめが必要である。

小平市の公共交通をよりよいものにするために



公共交通をよりよいものに／受動喫煙防止を進めよう

山岸真知子議員(市議会公明党)

小平市の公共交通をよりよいものにするために

質問 ①南西部地域のコミュニティタクシーを考える会での検討状況は。

②高齢者など移動困難な人への福祉的な視点を踏まえ、公共交通体系のあり方を再検討する必要があると考えるが見解は。

市長 ①上水本町地域はルート案見直しの検討をしているため、鷹の台駅西側地域から実証実験運行開始の手続を進めている。

②南西部地域の交通体系が整備された段階で、市内の交通機関の状況を踏まえ、近隣市との連携を含め、今後の公共交通



鈴木街道と五日市街道の改善／表彰制度の創設

浅倉成樹議員(市議会公明党)

小平団地東側を中心に鈴木街道と五日市街道等の改善について

質問 ①小平団地東側の鈴木街道の歩道改善のため団地側の用水路を含む歩道の一部をスーパ側につけかえる提案を平成17年にしたが、現在の都の考えは。

②喜平橋から茜屋橋間の五日市街道で、歩道設置のための買収はどの程度進んでいるか。

市長 ①団地側の用水路を車道へ改修する必要がある、その場合、用水路の側壁等の構造が車両の通行に耐えられないことから、難しいと聞いている。

②都からは、5割強の事業用地を取得しており、引き続き用地を取得しており、引き続き用地を取得しており、引き続き用地

質問 ①小平団地東側の鈴木街道の歩道改善のため団地側の用水路を含む歩道の一部をスーパ側につけかえる提案を平成17年にしたが、現在の都の考えは。

②喜平橋から茜屋橋間の五日市街道で、歩道設置のための買収はどの程度進んでいるか。

市長 ①団地側の用水路を車道へ改修する必要がある、その場合、用水路の側壁等の構造が車両の通行に耐えられないことから、難しいと聞いている。

子どもたちの安全や健康増進の視点で受動喫煙防止を進めよう

質問 ①駅周辺の通学路での路上喫煙を規制すべきだが見解は。

②健康増進の視点から受動喫煙の有害性等の知識の普及啓発を強化すべきだが、教育委員会におけるこれまでの取り組みは。

市長 ①市内全域で歩きタバコ防止等に取り組んでいるが、駅周辺では、子どもを受動喫煙から守る認識と理解をより深めてもらうことが重要と考えている。

教育長 ②保健体育科の授業で、喫煙が周りの人の健康に及ぼす影響を考える学習等行っている。



電子申請推進／効率的保育事業／
職員は地域コミュニティへ

竹井ようこ議員（フォーラム小平）

市民サービス向上のため
電子申請を推進するべき

自治体経営を効率化し職員の
稼働を地域コミュニティへ

質問 ①児童手当申請や保育園

質問 ①自治会・町会の現状に

②マイナンバーカードと電子
申請の普及促進をどう行うか。

②職員の地域担当制の採用を。

市長 ①医療費助成制度などが

市長 ①住民と地域の関係の希

②現在のところ考えていない

②市民の意見を聞きながら小

②マイナンバーカードの利便
性の周知と、電子申請に適した
手続の検討を進めていく。

②保育ニーズをより正確に把握
し、効率的な保育事業の推進を



視覚障がい者への支援体制／
公共交通機関の積極的状況把握を

吉本ゆうすけ議員（フォーラム小平）

視覚障がい者への
支援体制について問う

質問 ①緑成会病院横からたい

市内公共交通機関の
状況把握は積極的に行うべき

②公共施設のトイレへの音声

質問 ①鉄道、バス、タクシー

案内設置が必要だが見解は。

②鉄道駅の利用環境の変化に

③視覚障害者から相談を受け

市長 ①適宜情報交換の場を設

市長 ①早急に補修等の対応を

市長 ①適宜情報交換の場を設

②利用者の意見等聞きながら、

②鉄道事業者からは、駅構内

③地域ごとに通所等を担当す

②鉄道事業者からは、駅構内



小川駅再開発まちづくりに市民
の声の反映を／防球ネット点検

細谷 正議員（日本共産党小平市議団）

小川駅西口地区再開発と周辺の
まちづくりに市民の声を

秋山公園グラウンド防球ネット
と自立型掲示板の保守点検を

質問 ①まちづくりに市民が参

質問 ①防球ネットについて腐

②小川駅西口地区市街地再開

②選挙ポスター掲示場の設置

市長 ①準備組合と連携を図り

市長 ①現在、防球ネットの評

②市民の意見を聞きながら小

②選挙ポスター掲示場の設置

②市民の意見を聞きながら小

②選挙ポスター掲示場の設置

②市民の意見を聞きながら小

②選挙ポスター掲示場の設置



▲修繕等の対応が検討され
る秋山公園グラウンドの
防球ネット



介護離職ゼロに／発達支援セン
ター設置を／ともに暮らす町に

日向美砂子議員（生活者ネットワーク）

高齢者も介護する人も
幸せにらせる小平をめざして

設置についての検討状況は。

質問 ①地域包括ケア推進計画

市長 ①介護する家族の支援と

②退院した高齢者への医療と

市長 ①平成32年度までに設置

市長 ①介護する家族の支援と

市長 ①平成32年度までに設置

②退院前に病院から情報提供

市長 福祉では無料低額診療事

②退院前に病院から情報提供

市長 福祉では無料低額診療事

②退院前に病院から情報提供

市長 福祉では無料低額診療事



国民健康保険の今後／安心して
暮らせる介護サービスの提供

佐藤 充議員（日本共産党小平市議団）

国民健康保険の
今後について問う

安心して暮らせる
介護サービスの提供を

質問 ①保険料が高いなどの構

質問 ①ケアマネジャー、訪問

②貧困化、少子化対策等を考

②介護ニーズの多様化、複雑

②貧困化、少子化対策等を考

②介護ニーズの多様化、複雑

②貧困化、少子化対策等を考

②介護ニーズの多様化、複雑

②貧困化、少子化対策等を考

②介護ニーズの多様化、複雑

②貧困化、少子化対策等を考

②介護ニーズの多様化、複雑

②貧困化、少子化対策等を考

②介護ニーズの多様化、複雑

用語の解説

※1 STOP itとは

いじめ等を受けている、
もしくは目撃した人が匿名
で学校等の担当者に報告、
相談ができるモバイルアプ
リケーションのこと。

※2 アクティブシニアと
は

一般に、自分の価値観を
持ち、定年退職後なども趣
味や社会参加活動等、さま
ざまな活動に積極的に取り
組むシニア層とされている。

市議会ホームページを
リニューアルしました

カレンダー機能の追加などの
リニューアルをしました。今後
もわかりやすい情報配信に努め
ていきます。ぜひご覧ください。

市議会ホーム
ページの内容

小平市議会のページには、さ
まざまな機能があります。ぜひ
ご活用ください。

議会中継

本会議の様子をインターネット
で録画配信しています。録画
映像は会議日の原則3日後から
配信を開始し、次の定例会の前
日までの間、ご覧いただけます。

会議録検索システム

本会議や委員会での発言は会
議録に記録されます。当システ
ムでは、キーワードなどから会
議録を検索することができます。

市議会だよりデジタル版

年4回発行している市議会だ
よりをデジタルブック形式で読

むことができます。

議員の寄附行為は
禁止されています

政治家が、選挙区内の人や団
体にあいさつ状（答礼のための
自筆によるものは除く）を出し
たり、お金や物を贈ることは、
時期や理由を問わず法律で禁止
されています。受け取った人も
罰せられます。

また、有権者が政治家に寄附
を求めることも禁止されていま
す。具体例は次のとおりです。

- お中元やお歳暮
- お祭りへの寄附や差し入れ
- 秘書や家族などが代理で出席
する場合の結婚祝いや香典
- 葬式の花輪や供花
- 落成式、開店祝いの花輪やお
祝いなど

市民の皆様のご理解とご協力
をお願いします。

市議会を傍聴
してみませんか

本会議や委員会は定員の範囲
内でどなたでも傍聴することが
できます。傍聴を希望される方
は市役所7階の議会事務局にお
越しください。会議当日の午前
8時30分から受け付けをしてい
た後、傍聴券をお渡しします。

なお、小平市議会では、本会
議場傍聴席への磁気ループの設
置と手話通訳者の配置を試行的
に実施しています。（ご利用に
当たっては、事前の申し込みが
必要です。）

本会議の日程等詳しいことは
議会事務局までお問い合わせい
ただくか、市議会のホームペー
ジをご覧ください。

請願・陳情



6月定例会では、請願1件を新たに受理し、採択しました。陳情は2件を受理し、全議員及び執行機関に陳情文書表を配付しました。採択した請願の要旨は次のとおりです。

胎内堀保全工事に当たり市内用水路への流水の維持を求めることについて

小平には、約350年前、開拓民の生活用水を確保するため、玉川上水からの分水によってつくられた用水路が今も流れています。明治3年に玉川上水に並行して掘られた新堀用水には立て穴を掘ってから横穴を掘ってつなげる素掘りのトンネル方式である胎内堀となっている箇所が上流部にあります。

小平市は、平成30年9月から平成31年3月にかけて、胎内堀の保全工事を計画しています。

胎内堀抗口付近の樹木伐採や宅地化により抗口部分が乾燥し、木の根の影響もあって劣化が進行して保全対策が必要だと市は説明しています。

工事の内容は、胎内堀のトンネル内部に鉄板を張って補強した上で、現在の胎内堀抗口から下流15㍍までパイプでトンネルを延長してコンクリート擁壁をつくり、そこに現在の抗口を模したプラスチック製擬岩をはめ込むというものです。そして、この工事のため、平成30年11月から平成31年1月までの3か月間、新堀用水の水をとめる予定です。市内の用水のうち野火止用水と砂川用水を除く用水は新堀用水から分水されているため、新堀用水の水をとめることにより市内のほとんどの用水の水がとまることとなります。

これらの用水路には多摩川の原水が流れており、豊かな生態系を形成しています。特に水流が豊富な小川用水の上流部には、絶滅危惧種であるアブラハヤのほか、クチボソ、ドジョウなどの魚類や、ザリガニ、ガガンボ、カワニナ、ヤゴ類、蛭など多様な生き物が生息しています。それらを餌とするサギやカモも飛来します。

保全工事の実施に伴い3か月にわたり水流が途絶えれば、これらの水生生物の大半は死滅してしまいます。そしてその回復は容易なものではありません。平成25年、上水公園付近での漏水事故のため、半年間水が途絶えた新堀用水では、以前は見られた生物が、5年たった今も十分には戻っていません。市では現在の流水量を確保して切り回しをするには大がかりな工事が避けられず、多額の経費が必要と試算し、胎内堀内の工事の危険性も回避しきれないとしています。したが、それらの課題を克服し流水を少しでも維持する何らかの方策は見出せるはずだと、小平市開拓の礎である用水路は、豊かな自然に親しむ水辺としても貴重な財産であり、よりよい形で後世へつないでいくことが大切です。

以上の理由により、次の事項

「市民と議会の意見交換会」を開催しました

市議会では「小平の魅力アップについて あなたの目線で考えてみませんか」をテーマに、今年初めての意見交換会を以下のとおり開催しました。

3月定例会の報告を行ったのち、市民の皆さんとグループに分かれ、テーマに沿って意見交換を行いました。多くのご意見をいただきました。ありがとうございました。

開催の概要は下記のとおりです。

- 日時 4月27日(金) 午後7時～9時
- 会場 ルネこだいら レセプションホール
- 参加者数 39人



当日の様子

意見交換の内容やいただいたご意見、アンケート結果の詳細については、市議会ホームページ（<http://www.city.kodaira.tokyo.jp/gikai/>）のほか、市役所7階議会事務局でもご覧いただけます。

今回は、10月25日、26日、29日、30日の夜間に4会場での開催を予定しております。

詳細は、議会事務局までお問い合わせください。多くの方のご参加をお待ちしております。

意見書

6月定例会では1件の意見書を可決し、関係機関へ送付しました。(要旨)

意見書とは、地方公共団体の公共の利益に関することについて議会としての意思を意見としてまとめ、国会または関係行政庁に文書で提出するものです。(地方自治法第99条)

特権的地方議会議員年金制度の復活に断固反対する意見書

地方議会議員年金は市町村合併の急速な進展等による議員数の激減による年金財政の破綻により平成23年に廃止されました。

しかし、議員のなり手がいないことなどを理由に地方議会議員の厚生年金への加入のための法律の改正案を議員立法により今国会に提案する準備が続けられています。

この動きは平成23年の地方議会議員年金制度廃止法案の委員会採決に際し、衆参両院の総務委員会において、地方議会議員年金制度廃止後、おおむね1年を目途として、地方議会における人材確保の観点を踏まえた新たな年金制度について検討を行う旨の附帯決議が全会一致でな

されたことによるものです。議員年金制度は廃止されましたが、元議員等の既存支給者への給付はこの先約50年続き、その公的負担累計額は、総務省の試算で約1兆1千4百億円にも上る膨大な額になります。

小平市では、平成30年度の予算ベースで議会費から元議員等の既存支給者の年金の支払いのために約6千8百7万円の公費が支出されています。そのうえ、議員が厚生年金に加入すれば、事業主負担として、新たな財政負担が生じ、その額は小平市で年間約2千3百万円、都道府県、市区町村全体で約2百億円に上ると試算されています。

一方、町村議会を初め多くの地方議会において議員のなり手不足が深刻化していることは憂慮すべき事態であり、その方策

議会日誌

4月19日～7月17日
本会議、委員会、諸会議など



4月		30日 小平・村山・大和衛生組合議会臨時会
19日	石川県議会議員視察来庁（下水道整備事業のこれまでの取り組み、ふれあい下水道館開設に至る経緯及び利用状況について）	31日 議会運営委員会 東京都三多摩地区消防運営協議会通常総会 静岡県静岡市議会議員視察来庁（なかもちテラスについて）

5月		6月	
9日	総務委員会行政視察（青森県弘前市、秋田県大館市、岩手県盛岡市 11日まで）生活文教委員会行政視察（石川県羽咋市、富山県小矢部市、新潟県糸魚川市 11日まで）	5日	6月定例会初日
16日	厚生委員会行政視察（大阪府東大阪市、豊中市、奈良県生駒市 18日まで）環境建設委員会行政視察（北海道札幌市、室蘭市、苫小牧市 18日まで）	6日	6月定例会2日目（一般質問）
17日	徳島県徳島市議会議員視察来庁（なかもちテラスについて）	7日	6月定例会3日目（一般質問）
18日	東京都四市競艇事業組合議会臨時会 東京都十一市競輪事業組合議会臨時会	8日	6月定例会4日目（一般質問）
22日	総務委員会	12日	総務委員会
23日	生活文教委員会 三多摩上下水及び道路建設促進協議会総会	13日	生活文教委員会
24日	厚生委員会（稲城市視察あり） 東京都河川改修促進連盟総会及び促進大会	14日	厚生委員会
25日	環境建設委員会 宮城県仙台市議会議員視察来庁（ふれあい下水道館事業について、下水道事業について）	15日	環境建設委員会
28日	幹事長会議	18日	広聴広報特別委員会

7月	
4日	岩手県滝沢市議会議員視察来庁（観光振興について）
13日	青森県弘前市議会議員視察来庁（小平市協働事業フォローアップ支援事業について）
17日	広聴広報特別委員会

議場見学



《小学3年生》	
○5月22日	八小72人
○5月31日	七小118人
○6月1日	十三小59人
○6月12日	十二小98人
	九小81人

あとがき



6月定例会では、さまざまな議案等について、活発な議論が交わされました。今後もわかりやすい紙面づくりに努めてまいります。

お気づきの点がございましたら議会事務局にお寄せください。

〒187-1870 小平市小川町二丁目

TEL 042-(346) 9566
FAX 042-(346) 9567